



とちぎ

2016

県政のあゆみ

1月-2月

活躍をたたえて

栃木県スポーツ功労賞

本県出身で、2015 年度日本野球機構セントラル・リーグ優勝を果たした東京ヤクルトスワローズの真中満監督(本県出身の監督として初のリーグ優勝)と、サッカー女子ワールドカップカナダ2015 で準優勝した日本代表「なでしこジャパン」の鮫島彩選手(リーグ中のため代理受領)へ、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞を授与しました。

1月



県内で創作活動をしている障害のある方々の作品を県庁で展示

Viewing 展

障害の有無にかかわらず誰もが活躍でき、支え合うことのできる“共生社会とちぎ”を目指し、文化活動による障害者の社会参加を促進するとともに、県民の間に広く障害者に対する理解を深めることを目的として、1月18日から22日まで、県庁本館15階展望ロビーにおいて「Viewing(ビューイング)展」を開催しました。ハンディのある作家等の作品を展示する、那珂川町の旧小学校校舎を利用した「もうひとつの美術館」と県が共催で行う初めての作品展で、延べ約1,850名が来場し、魅力的な作品を観賞していただきました。

1月



女性目線で“とちぎの木材”をPR!

とちぎの木を活かす女子の会～木輪～の設立



全国でも有数の品質・生産量を誇りながら、知名度に欠ける“とちぎの木材”を広くPRするため、「とちぎの木を活かす女子の会～^{もくりん}木輪～」を2月7日に設立しました。林業・木材産業・建築業に携わる女性のほか、高校生や主婦など52名のメンバーが、今後、女性ならではの視点を生かして様々な活動を行っていきます。

2月

2月-3月

航空機産業等の技術支援拠点を整備

マイクロテクノロジーラボ開所式

本県におけるものづくりの更なる成長に向け、航空機産業を中心とした先端ものづくり産業を戦略的に支援するため、栃木県産業技術センター内にマイクロテクノロジーラボを、2月8日に開設しました。

マイクロテクノロジーラボには、主に航空機部品等の品質や信頼性の検査に関連する機器を整備し、様々な企業の試作開発・品質評価等への利用に供することにより、航空機産業関連企業等の技術高度化を支援していきます。

2月



健康づくりに関する「知りたい」にお答えするサイトがオープン！

健康長寿とちぎWEB開設



健康づくりの秘けつや、楽しく健康づくりができるイベント・講習会などが検索できる健康づくり情報サイト「健康長寿とちぎWEB」を、2月16日に開設しました。

「とちぎのヘルシーグルメ推進店」や「とちぎ禁煙・分煙推進店」が検索

できたり、健康長寿とちぎづくり県民運動の重点プロジェクト参加団体の活動内容を閲覧できたりするなど、健康づくりの情報が盛りだくさんです。

2月

いざという時も 頼れる道路の確保

主要地方道栃木二宮線 大光寺橋開通

平成21年度から老朽化した橋梁の架替工事を進めてきた、思川に架かる大光寺橋(工区延長960メートル、橋長339メートル)が、3月12日に開通しました。

これにより、河川増水時の通行止めが解消されるなど、安全で円滑な通行確保により緊急輸送道路としての機能が強化され、栃木市、下野市、真岡市等における一層の地域振興と交流連携の促進が期待されます。



3月

3月

子どもたちの安全を支える道路の確保

主要地方道真岡那須烏山線 赤羽工区 バイパス区間の開通

3月



市貝町赤羽地区と芳賀市街地へのアクセス強化と、安全で円滑な交通の確保を目的に、平成 21 年度から整備を進めている赤羽工区（工区延長 2,000 メートル）のうち、バイパス区間の延長 480 メートルが 3 月 18 日に開通しました。

これにより、赤羽小学校に通学する児童の安全が確保されるとともに、県東部の主要都市と赤羽工業団地との連携が強化され、本地域の振興に寄与することが期待されます。残る区間についても引き続き整備を進めていきます。

19年ぶりに DC 開催地に指定！

3月

DC 開催地域指定決定通知書の手交

平成 30 年春（4 月～6 月）のデスティネーションキャンペーン（DC）の開催地域として本県が指定されました。DC は、JR グループ 6 社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と地域が共同で取り組む国内最大規模の観光キャンペーンで、全国に向けて集中的な広告宣伝やプロモーション活動などを行い、観光誘客を図るものです。



3 月 30 日、東日本旅客鉄道株式会社大宮支社の阪本未来子支社長から開催地域指定決定通知書が福田知事に手渡され、福田知事は「多くのお客様を惹きつけ、呼び込み、おもてなしをすることにより、観光立県とちぎづくりにつなげたい」と意気込みを話しました。



本物の出会い 栃木

Discover your Tochigi

「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン 2018 4/1▶6/30



4月

国内外に「とちぎの元気」を！

4月

栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」がスタート



県では、今後 5 年間の県政の基本指針となる栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」を、4 月 1 日からスタートさせました。このプランに掲げた、県民の皆さんとともに目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な “とちぎ”」をより確実に、より効果的に実現していくため、「次代を拓く人づくり戦略」を第 1 の柱とする 5 つの重点戦略のもと、とちぎを元気にする 18 のプロジェクトを展開していきます。

このプランを着実に推進し、ふるさとに誇りを持てるとちぎづくりを進め、国内外に「とちぎの元気」を発信していきます。

保育士を確保し待機児童ゼロを目指す

4月

とちぎ保育士・保育所支援センターがオープン

保育士を確保し、待機児童の解消を図るため、4 月 1 日、とちぎ福祉プラザ内に「とちぎ保育士・保育所支援センター」がオープンしました。センターでは、保育士経験のある保育人材コーディネーターが、保育士の資格を持ちながら仕事に就いていない潜在保育士などを対象に、就職相談やあっせんなど保育職への再就職支援に取り組みます。



県内初の高等特別支援学校が開校

4月

栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園開校



軽度の知的障害がある生徒の職業的自立支援を強化するため、4 月 1 日、県内初の高等特別支援学校が宇都宮市京町に開校しました。実習室には企業の現場等と同様の設備が整い、生徒が企業の即戦力となれる実践的な作業実習が行えるようになっています。また、地域の方とのふれあいの場として、コミュニティショップも設置し、実習で作ったパンや菓子等の販売のほか、喫茶の提供を行っています。

4月-5月

県庁でオープニングイベントを開催

「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーン

4月1日から6月30日まで、「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーンを開催しました。

4月2日には、オープニングイベントとして、セレモニーやゲストによるステージイベント、「とちぎのいちご」にちなんだ15メートルのロールケーキ制作などを実施。完成後に来場者へ振る舞われると、大きな歓声が上がリ、観光キャンペーンの始まりを一層盛り上げました。



4月

山地災害に関する官民協働の情報収集体制の構築

森林やその周辺で活動する事業者等との山地災害等の情報提供に関する協定締結



近年多発する山地災害を未然に防止し、減災の取組に役立てるため、県内で活動している林業事業者等3者と、山地災害等の情報提供に関する協定を5月10日に締結しました。この協定は、山地災害関連の情報をより早く、より広く収集する体制を整備することを目的としています。

この取組は、その後地域への広がりを見せ、県内各地区で山地災害等の情報提供に関する協定が結ばれ、官民連携の情報収集体制の整備が進んでいます。

5月

企業を連携して支援するネットワークのキックオフ会議を開催

「とちぎ地域企業応援ネットワーク」全体会

5月19日に、県、市町、商工団体や金融機関等の支援機関が連携して企業を支援する「とちぎ地域企業応援ネットワーク」の第1回全体会を開催しました。本ネットワークには、創業、金融、事業承継、人材育成の各分野で、より議論を深めるためのプロジェクトチームを設けています。この取組により、オール栃木体制で企業の創業・成長・事業承継等の各段階における課題に即応した、切れ目のない支援を推進していきます。



5月

5月-6月

シンボルロードのトチノキから「ハチミツ」を採取

県庁みつばちプロジェクト「はちみつ分離式」

5月



「県庁みつばちプロジェクト」が6年ぶりに復活し、蜜蜂が集めたハチミツを分離する「はちみつ分離式」が、5月30日に行われました。

巣箱からハチミツがたくさん詰まった巣板を取り出し、参加者が遠心分離機を回してハチミツの分離を体験。できたてのハチミツはとても甘く、試食した参加者から「おいしい」という声が続々と上がりました。

採れたハチミツは38キログラム。県庁周辺のレストラン3カ所で料理やお菓子として提供されたほか、県民の日記念イベントでも販売され、好評のうちに完売しました。

大規模災害時の連携を強化

6月

「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練

大規模災害時における公共土木施設の復旧について、国、自衛隊、警察、県、市町、(一社)栃木県建設業協会が連携し、迅速な初動対応が図れるよう、6月15日に合同情報伝達訓練を実施しました。

今回の訓練は、交通遮断や孤立集落が発生したことを想定し、通信機器を用いたの情報伝達や現地からの写真・映像の伝送など、大規模な土砂災害への対応を中心に行われました。



オール栃木による農産物の輸出促進

6月

「とちぎ農産物輸出促進会議」設立



6月20日、県内全市町、農業団体、輸出企業、大学、金融機関等を構成員とした「とちぎ農産物輸出促進会議」を設立しました。この会議は、少子高齢化等による農産物の国内市場の縮小が見込まれることから、アジアをはじめ、成長する世界の食市場を取り込んで農産物の輸出を拡大し、農業の成長産業化を進めていくものです。

今後はオール栃木体制により、平成32年度の輸出目標額を3億円とした「とちぎ農産物輸出戦略」に基づき、「にっこり」や「スカイベリー」、「とちぎ和牛」等を中心に、県産農産物の輸出拡大に取り組んでいきます。

“国際避暑地・奥日光”の原点 英国大使館別荘記念公園開園

7月

7月1日に、奥日光・中禅寺湖畔に「英国大使館別荘記念公園」が開園しました。美しい湖畔の風景や、国際避暑地の歴史を伝える展示、ティールームでの紅茶やスコーンなどが楽しめる施設です。開園の前日には、駐日英国大使らをお招きして、開園式典を開催。施設見学も行われ、出席者たちは、旧別荘を建てた英国外交官アーネスト・サトウが「絵に描いたような風景」と評した中禅寺湖の眺望などを楽しんでいました。



本県の魅力を県外に発信

VERY GOOD LOCAL とちぎフェア

7月



7月3日に、東京都池袋で「VERY GOOD LOCAL とちぎフェア」を開催しました。このイベントは、本県の魅力を県外の方にも知ってもらうため、県産品の販売や観光PRなどを行うもので、“とちぎブランド”のキャッチフレーズを冠した初めてのイベントです。

イベントでは、アイドルグループ「カントリー・ガールズ」のメンバーで本県出身の森戸知沙希さんへの“とちぎ未来大使”委嘱式のほか、カントリー・ガールズのミニライブや県産品が当たるクイズ大会などが行われ、会場は多くの人で賑わいました。

新たなヘルスケアビジネスの創出を目指して

「とちぎヘルスケア産業フォーラム」キックオフセミナー

7月

健康寿命の延伸が求められる中、新たな成長産業として期待されるヘルスケア関連産業について、県内で活動する企業、団体、自治体等が事業者間のネットワークの形成等を行う「とちぎヘルスケア産業フォーラム」を設立し、7月11日に初めてのセミナーを開催しました。今後、フォーラムの活動を通じて、新たなヘルスケアビジネスの創出等の促進を図っていきます。



名古屋で14年ぶりの企業誘致イベント開催
 とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in NAGOYA

7月



本県への企業立地促進を図るため、東海地方では14年ぶりとなる企業誘致セミナーを、7月21日に愛知県名古屋市内で開催しました。この日は、東海地方に本社や拠点を持つ企業をはじめ、金融機関や不動産業者など、企業立地にかかわる42社62名が参加。セミナーでは、福田知事がプレゼンテーションを行い、交通の利便性や豊富な観光資源、大規模な自然災害が比較的少ないことなど、本県の優れた企業立地環境と

魅力をアピールしました。

“とちぎ”での暮らしと仕事の相談に、都内でワンストップ対応！
 とちぎ暮らし・しごと支援センター開設

7月

東京都有楽町に設置していた移住相談窓口の体制を強化し、7月22日、「とちぎ暮らし・しごと支援センター」としてリニューアルオープンしました。



暮らしと仕事の相談にワンストップで対応できるよう、移住相談員1名と職業相談員2名を配置し、本県の魅力の発信や移住に関する相談をはじめ、職業相談や首都圏の就職促進協定校と連携した取組により、本県への移住や就職を希望する方々のニーズにきめ細かく対応していきます。

県産品の展示販売とともに観光をPR

7月

北関東三県ベトナムアンテナショップ開設



ベトナム・ハノイ市のイオンモールに北関東三県が連携し、7月31日に加工食品や工芸品の展示販売を行うアンテナショップを開設しました(平成29年2月26日まで)。オープンの日には、各県のマスコットキャラクターも登場して会場を盛り上げたほか、11月12日、13日には「とちぎの日」と題し、日光江戸村による「忍者ショー」などが行われ、本県の観光と県産品をPRしました。今回のアンテナショップでの展示販売を通し、県内企業のベトナムへの販路開拓が期待されます。

8月

観光で活力あふれる地域づくり！

「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン実行委員会総会

8月

8月5日、県庁において、県、JR、市町、観光協会、観光関係団体など、144 団体で構成された「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン実行委員会の設立総会を開催しました。



平成 30 年 4 月から 6 月に掛けて開催されるデスティネーションキャンペーン (DC) に向け、観光資源の更なる掘り起こしと磨き上げにオール栃木体制で取り組むことにより、観光立県とちぎづくりを進めるとともに、本県のブランド力の向上につなげていきます。

障害者スポーツの拠点が完成

わかくさアリーナオープン

8月



障害のある方が、気軽にスポーツなどに利用することができ、障害者スポーツを通して地域の方々と交流ができる施設として、とちぎ福祉プラザ南側に「障害者スポーツセンター(愛称：わかくさアリーナ)」がオープンしました。

8月6日に開催したオープニングイベントでは、リオデジャネイロパラリンピックへの出場を控えた駒崎茂選手(ボート競技)の激励のほか、オリンピック・パラリンピアンを招いて、シッティングバレーボールや車椅子バスケットボールのエキシビジョンゲームなどを行い、障害の有無にかかわらず多くの県民が障害者スポーツに触れ、交流を楽しみました。

初めての「山の日」を記念して

栃木県「山の日」制定記念フェスティバル

8月

8月11日が国民の祝日「山の日」となったことを記念して、日光だいや川公園で栃木県「山の日」制定記念フェスティバルを開催しました。山の日制定を祝う記念式典のほか、登山基礎知識講座等のステージイベントや生き物自然観察会等の体験イベント、本県の山の恵みを使った食体験イベントなどを通じて山の恩恵に触れ、来場した約 2,000 名の方が山に親しみました。



8月-9月

夏の甲子園優勝、おめでとう！

作新学院高等学校硬式野球部優勝報告会

8月



第 98 回全国高等学校野球選手権大会において作新学院高等学校硬式野球部が優勝を果たしました。

同チームは、明治 35 年の創部以来、全国高等学校野球選手権大会に 12 回(近年では 6 年連続)出場。今大会では、54 年ぶり 2 度目の優勝という快挙を成し遂げ、広く県民に希望と活力を与えてくれました。

8 月 26 日に県庁 1 階県民ロビーで行われた優勝報告会では、その功績と栄誉をたたえ栃木県スポーツ功労賞が授与され、集まった県民の皆さんから盛大な拍手が送られました。

災害に備えて

栃木県・さくら市総合防災訓練

8月

8 月 28 日、さくら市総合公園で県とさくら市の共催による総合防災訓練を実施しました。

約 120 団体の約 1,500 名が参加。東日本大震災の教訓を踏まえ、消防・警察・自衛隊等の防災関係機関が連携した救出・救護をはじめ、地元の自主防災組織や小・中学生による初期消火・避難、避難所運営、DMAT(災害派遣医療チーム)による救助のほか、ライフライン復旧や災害時の応援協定に基づく緊急物資輸送など、様々な訓練が行われました。



地元金融機関と連携し、本県への移住・定住を促進

「移住・定住の促進に関する協定」の締結

9月



9 月 7 日、足利銀行と「移住・定住の促進に関する協定」を締結しました。足利銀行には、金融機関のノウハウやネットワークを生かし、移住・定住に関する情報発信や相談支援、独自の商品開発等に取り組んでいただくこととなりました。

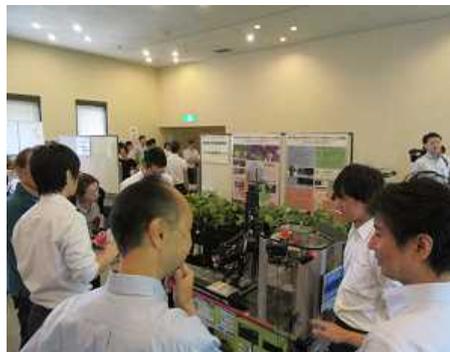
今後とも、互いに連携を図りながら、本県への移住・定住の促進に積極的に取り組んでいきます。

ロボット関連産業の成長発展を目指して

「とちぎロボットフォーラム」キックオフシンポジウム

9月

企業の生産性向上等の観点から、成長が見込まれるロボット関連産業について、企業や大学などの関係団体がネットワークを形成し、調査・研究、事業展開等を行う「とちぎロボットフォーラム」を、7月に設立しました。



9月12日には、そのキックオフシンポジウムが行われ、フォーラムの会員たちは、講演や最新のロボットの展示などを通じて、ロボットの技術や開発の動向について知識を深めました。今後、とちぎロボットフォーラムの活動を通して、本県のロボット関連産業の振興を図っていきます。

オール栃木で未来を変える！

とちぎ女性活躍応援団設立

9月



知事をトップとしたオール栃木体制で、女性の活躍を支援する「とちぎ女性活躍応援団」を、9月14日に設立しました。設立を記念して開催されたキックオフ大会では、出席者全員での応援団「行動アピール」の唱和のほか、女性の活躍や働き方改革についての講演、パネルディスカッションが行われ、参加者は「女性がいきいきと活躍できる“とちぎ”」の実現に向け、決意を新たにしました。

部下のワーク・ライフ・バランスを応援！

栃木県庁イクボス宣言

9月

「とちぎ女性活躍応援団」の設立を受け、9月15日に、知事と県幹部職員による「栃木県庁イクボス宣言」が行われました。

“イクボス”とは、部下のワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら組織の業績や結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しめる上司のことです。



知事らは宣言書に署名し、「仕事と家庭の両立を応援するイクボスになること」「県内の企業や団体にイクボスを増やすため積極的な働き掛けをすること」などを宣誓しました。

日光国立公園に外国人観光客を呼び込もう！

日光国立公園満喫プロジェクト第1回地域協議会

9月



国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化し、外国人観光客の誘客を図る「国立公園満喫プロジェクト」の先導モデルに、日光国立公園が選定されたことを受け、9月16日に第1回地域協議会を開催し、現状や課題、今後の取組などについて話し合いました。

日光国立公園を中心に、県内全域に多くの外国人観光客を呼び込み、奥深い魅力を満喫していただけるよう、地域と一体となって取組を進めていきます。

産業・経済の成長を支える道路の確保

一般県道羽生田鶴田線 助谷工区 4車線供用開始

9月

県が4車線化整備を進めてきた県道羽生田鶴田線延長900メートル区間(みぶ羽生田産業団地外周部)が、9月28日に供用開始となりました。

これにより、北関東自動車道壬生ICからみぶ羽生田産業団地へのアクセスが向上し、地域の活性化に大きく寄与するものと期待されます。壬生ICまでの残る区間についても、引き続き4車線化を進めていきます。



リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで本県出身選手が大活躍！

栃木県スポーツ功労賞

9月

リオデジャネイロオリンピックにおいて、競泳男子の萩野公介選手が金、銀、銅3個のメダルを獲得したのをはじめ、柔道男子66kg級の海老沼匡選手と同60kg級の高藤直寿選手が銅メダルを獲得し、競泳女子の清水咲子選手も8位入賞。パラリンピックでも、車いすテニス男子ダブルスで眞田卓選手が4位入賞を果たしました。



これらの活躍により、県民はもとより、日本国民へ多くの希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、栃木県スポーツ功労賞等の授与が行われました。9月に受賞したのは眞田選手(左)と海老沼選手(中央)、高藤選手(右)。海老沼選手は世界柔道選手権大会3連覇に続き2回目、高藤選手と眞田選手は初めての受賞となりました。

10月

クライミング・ボルダリング種目日本人初の年間王者誕生！

10月

栃木県スポーツ功労賞

IFSC クライミング・ワールドカップ 2016 ボルダリング種目において、檜崎智亜選手が日本人男子史上初の年間総合優勝を果たしました。また、世界選手権パリ大会においても優勝し、日本人選手として男女を通じて史上初の快挙を達成しました。



この活躍により、広く県民に希望と活力を与えてくれた功績と栄誉をたたえ、10月4

日に栃木県スポーツ功労賞が授与されました。クライミングは東京オリンピックから正式種目に採用されるため、今後の活躍が期待されます。

とちぎ海浜自然の家利用者 200 万人達成

10月

セレモニーで記念品を贈呈



とちぎ海浜自然の家は、本県の子どもたちの「海の分教場」として、また、県民一般に学習の場を提供する生涯学習施設として利用されています。平成4年の開所から25年目を迎えた10月11日、延べ利用者数200万人を達成。200万人達成記念セレモニーを行い、臨海自然教室として利用した子どもたちに、赤羽根所長から記念品が贈られました。

「とちぎらしさ」を実感できる大会開催に向けて

10月

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会設立総会

10月28日、全国山の日協議会や国、県内の関係機関や団体等で構成する第2回「山の日」記念全国大会実行委員会を設立しました。

平成29年8月11日に那須町で開催する全国大会では、本格的な登山から身近な里山における自然体験や健康づくりなどの場まで、幅広くたくさんの方々に親しまれている本県の山々の特徴を生かすなど、「とちぎらしさ」を存分に実感できる参加・体験型の大会となるよう、準備を進めていきます。



10月-11月

これからもライフラインや産業インフラの分野で貢献！

企業局 60 周年記念植樹式

10月



企業局は、昭和 31 年に電気局として発足し、今年度で 60 周年となりました。この「企業局 60 周年」を記念し、10 月 28 日、発足の地である川治第一発電所において地元関係者ととも植樹式を行いました。

今後も、再生可能エネルギーである水力による電力の供給、安全で安心な水道用水や生産活動に不可欠な工業用水の供給、企業ニーズに応じた産業団地の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラの分野で県勢の発展に貢献していきます。

今後も、再生可能エネルギーである水力による電力の供給、安全で安心な水道用水や生産活動に不可欠な工業用水の

栃木県名誉県民の船村徹氏が文化勲章を受章

文化勲章受章

栃木県名誉県民である船村徹氏(平成 29 年 2 月 16 日逝去)は、日本作曲家協会理事長、日本音楽著作権協会会長などを歴任し、作曲家としても 5,000 曲を超える歌謡曲を発表するなど、音楽界の発展向上への多大な功績が認められ、11 月 3 日に文化勲章が授与されました。

船村徹氏は、栃木県警察 30 周年記念歌を作曲されたほか、新たに国民の祝日となった「山の日」の制定にも尽力するなど、その功績は県民の誇りとなっています。



11月

文化振興への貢献をたたえて

栃木県文化功労者表彰式

11月



県では、本県の文化振興に著しく貢献された方を、栃木県文化功労者として表彰しており、平成 28 年度は阿部昭氏が選ばれました。阿部氏は、教壇に立つ傍ら、近世黒羽藩の研究に取り組み、近年では二宮尊徳の研究にも力を注ぐなど、近世史研究・自治体史編さんや文化財保護に尽力されました。

11 月 10 日に表彰式が行われ、第 1 回表彰(昭和 24 年)からの受章者は、合計 144 人(学術 38 人、芸術 75 人、その他 31 人)になりました。

11月

地域経済を牽引する企業を認定

地域中核企業認定証交付式

人口減少に伴う県内需要の縮小等に対応し、本県経済の活性化を図るため、ニッチトップ企業やコネクタ―ハブ企業といった、地域経済に貢献し成長性の高い県内企業 5 社を「地域中核企業」に認定。11 月 15 日、県庁昭和館正庁において、認定証交付式を開催しました。県では、関係機関と連携し、地域中核企業の支援ニーズ等に基づき、各種支援を実施していきます。



11月

桜の木の世代交代

総合スポーツゾーン桜の木の植樹会



桜の名所として親しまれている県総合運動公園で、総合スポーツゾーンの整備に伴うサッカー・ラグビー場の改修に合わせ、11 月 27 日に桜の木の植樹会を行いました。同公園の桜の木の大半は、昭和 55 年の「栃の葉国体」時に植えられたもので老木となっていました。32 本の桜の木の世代交代が行われました。

植樹会には、親子連れなど約 350 名が参加し、知事は「桜の木の成長とともに、立派なアスリートとして将来活躍してほしい」と述べました。

11月

今年も「スカイベリー」の季節がやってきました

スカイベリーフェスタ 2016

平成 29 年産「スカイベリー」のプロモーション活動の第 1 弾として、11 月 27 日に日光市の東武日光駅前広場で「スカイベリーフェスタ 2016」を開催しました。

当日は、染織作家の西方彩庵さんが、和太鼓奏者谷口武芳さん、琴奏者てみさん、ケーナ奏者 Ren さんによる演奏に合わせ、スカイベリーをテーマとした「染織アート」のパフォーマンスを披露し、平成 29 年産スカイベリーの出荷を彩りました。

また、「スカイベリーを教えたい！食べさせたい！広めたい！」をスローガンに活動する、モデルの筑井美佑輝さんと「とちぎフレッシュメイト」で結成された“スカイベリーメッセンジャーズ”による、スカイベリーの配布も行われました。



11月

11月-12月

やまがた大会での活躍を知事に報告

11月

「やまがた技能五輪・アビリンピック 2016」入賞者報告会



10月に開催された「やまがた技能五輪・アビリンピック 2016」で入賞した本県代表選手による福田知事への報告会が、11月30日に栃木県公館で行われました。

選手たちは、入賞を果たしたことについての感想や、今後の進路、「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」への抱負などを報告しました。知事からは、

入賞者に対しお祝いとねぎらいの言葉が掛けられました。

新たにユネスコ無形文化遺産が誕生！

12月

「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録

那須烏山市の「烏山の山あげ行事(左)」と鹿沼市の「鹿沼今宮神社祭の屋台行事(右)」を含む全国33の祭りで構成する「山・鉦・屋台行事」が、12月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。本県では、平成22年の「結城紬」以来の登録となります。

今後とも、両市や関係団体と協力しながら、これらの貴重な無形文化遺産の更なる保存・活用を図り、後世に確実に継承していくとともに、積極的なPRを行っていきます。



とちまるくんが JR 宇都宮駅に登場！

12月

「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」カウントダウンボード除幕式

平成29年11月に本県で開催される「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」を、広く県民の皆さんに周知するとともに、大会開催の機運を高めるため、12月2日に JR 宇都宮駅構内において、とちまるくんのカウントダウンボード除幕式を行いました。



当日は、福田知事をはじめ、大会の関係者が除幕を行い、華やかな式典となりました。大会終了までの間、ものづくりをイメージした衣装に着替えたとちまるくんが、駅を訪れる方々をお出迎えしています。

リオの感動と興奮が宇都宮に

12月

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック入賞者による県民祝賀パレードと報告会



12月4日、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック入賞者による、初めての県民祝賀パレードと報告会を実施しました。



パレードには、同オリンピック競泳男子に出場した萩野公介選手をはじめ、競泳女子の清水咲子選手、パラリンピック車いすテニス男子ダブルスの眞田卓選手の3選手が参加。2台のオープンカーに分乗し、宇都宮市役所から県庁までのシンボルロード約1,200メートルを、30分掛けてパレードしました。沿道に集まったおよそ1万人の県民の皆さんからは、大きな歓声と共に「感動をありがとう」「東京オリンピックも頑張るって」などと祝福や激励の言葉が掛けられ、選手たちも笑顔で手を振って応えていました。

また、パレード終了後には、萩野選手の栃木県民栄誉賞と清水選手の栃木県スポーツ功労賞の授与式、清水選手・眞田選手への「とちぎ未来大使」の委嘱状交付式が県議会棟1階ロビーで行われ、4年後の東京オリンピックに向けた意気込みを語っていただきました。



国内外で活躍した方々を招待

12月

“輝くとちぎ人”の集い



スポーツ・文化・学術・技能などの各分野で、国内または国外において顕著な功績のあった、本県にゆかりのある方々に対し、感謝と激励の意を表するとともに、その功績を広く県内外に発信するため、“輝くとちぎ人”の集いを、12月4日に県公館で開催しました。

同日に行われた県民祝賀パレードに参加した萩野選手、清水選手、眞田選手をはじめ、作新学院高等学校硬式野球部の代表者も特別招待者として参加。全国大会の入賞者など様々な分野で活躍する約180名は、今後の飛躍に向けて大いに刺激を受けていました。

都市間(小山市～栃木市)のアクセス強化

12月

都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線 栃木市平柳町工区開通

平成13年度から鉄道との立体交差による2車線でのバイパス整備を進めてきた都市計画道路3・3・3号小山栃木都賀線 栃木市平柳町工区(延長1,300メートル)が、12月17日に開通しました。

この道路の開通によって、高速道路へのアクセス強化や市街地の慢性的な交通渋滞の緩和、自転車・歩行者の安全確保が図られ、良好な都市環境を形成するなど、県土の発展に大きく寄与することが期待されます。



文化プログラムに向けた機運の醸成

12月

栃木県文化シンポジウム



2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、本県の魅力ある文化を国内外に発信し、本県文化の底上げを図っていこうという機運の醸成を目的に、栃木県文化シンポジウム「とちぎの元気を世界に！」を、12月21日に県総合文化センターで開催しました。

オープニングアクトとして、ユネスコ無形文化遺産に登録された「烏山の山あげ行事」の子宝^{さんばそう}三番叟、「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」の鹿沼屋台囃子が披露され、「とちぎの元気を発信する文化プログラム」をテーマにパネルディスカッションも行われました。

とちぎ 県政の あゆみ 2016

月	日	できごと
1月	12	栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
	12	主要地方道 桐生田沼線 出川工区 供用開始
	18	栃木県スポーツ功労賞表彰式(真中満監督)
	18	Viewing 展(22日まで)
	23	ツール・ド・とちぎ実行委員会設立総会
	27	栃木県スポーツ功労賞表彰式(鮫島彩選手)
	27	エコ農業とちぎ推進シンポジウム
2月	30	栃木県文化振興大会
	2	栃木県元気な農業コンクール表彰式
	3	“フードバレーとちぎ”観光地商談会(那須地区)
	3	駐日外交団とちぎ視察ツアー(4日まで)
	3	栃木県農業青年研究大会
	5	第2回とちぎビジネスチャレンジサミット
	5	第53回栃木県統計大会
	7	とちぎの木を活かす女子の会～木輪～設立
	8	マイクロテクノロジーラボ開所式
	8	栃木県安全で安心なまちづくり県民会議
	12	毎日農業記録賞表彰式
16	健康長寿とちぎWEB開設	
16	栃木県国土強靱化地域計画の策定	

2月	26	一般国道 293号 北向田工区 供用開始
	1	第2回とちぎビジネスプランコンテスト最終審査会
3月	11	「とちぎ防災の日」記念式典
	11	栃木県災害医療コーディネーター研修(12日まで)
	11	栃木県農業大学校卒業式
	12	主要地方道栃木二宮線 大光寺橋開通
	18	主要地方道真岡那須烏山線 赤羽バイパス開通
	24	一般県道 豊原高久線 黒田原工区 供用開始
	25	一般県道 下岡本上三川線 上三川工区 供用開始
	29	「日光・会津・上州歴史街道対流圏の強化プロジェクト」の決定
	30	DC開催地域指定決定通知書の手交
	30	栃木県農業大学校に全農とちぎからトマト高軒高ハウス寄贈
4月	1	栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」スタート
	1	とちぎ保育士・保育所支援センター開所
	1	栃木県口腔保健支援センター開所
	1	栃木県障害者差別解消推進条例の施行(一部は10月施行)
	1	新・教育委員会制度へ移行
	1	栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園開校
	1	「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーン(6月30日まで)
	5	春の交通安全県民総ぐるみ運動(6日から15日まで)オープニングセレモニー
	6	栃木県農業大学校入学式
	14	林業経営コンクール(28日にも実施)
5月	19	とちぎっ子学習状況調査
	27	栃木県農業大学校生による知事夫人への「母の日」カーネーション贈呈
	27	県庁みつばちプロジェクト(5月30日まで)
	28	栃木県交通安全対策会議
	6	ねんりんピックとちぎ2016(29日まで)
	10	山地災害等の情報提供に関する協定締結
	14	渡良瀬遊水地外来植物除去活動

5月	18	健康長寿とちぎづくり推進県民会議総会	7月	23	日光杉並木街道クリーン作戦	
	18	フードバレーとちぎ推進協議会総会		24	りんどう新品種愛称「るりおとめ 月あかり」「るりおとめ 星あかり」決定および初出荷	
	19	「とちぎ地域企業応援ネットワーク」全体会の開催		27	一般国道 121 号 大桑橋開通	
	20	栃木県アンテナショップ「とちまるショップ」4周年記念イベント		29	地理的表示保護制度セミナー	
	20	消費者のつどい		31	北関東三県ベトナムアンテナショップ開設(平成 29 年 2 月 26 日まで)	
	23	第 70 回栃木県芸術祭(11 月 27 日まで)		8月	1	廃棄物処理施設見学バスツアー(2 日、11 月 23 日にも実施)
30	県庁みつばちプロジェクト「はちみつ分離式」	3	第 38 回「全日本中学生水の作文コンクール」表彰式			
6月	1	不法投棄パトロール出発式・スカイパトロール(8 日、10 月 5 日、12 日、11 月 7 日にも実施)	5		「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーン実行委員会設立	
	1	栃木県農業大学校オープンキャンパス(7 月 24 日にも開催)	6		障害者スポーツセンター(わかくさアリーナ)オープン	
	1	主要地方道 宇都宮亀和田栃木線 細谷町工区 供用開始	8		栃木県・壬生町防災図上総合訓練	
	5	土砂災害・全国防災訓練の実施	11		栃木県「山の日」制定記念フェスティバル	
	15	県民の日記念イベント	26		栃木県スポーツ功労賞表彰式(作新学院高等学校硬式野球部)	
	15	とちぎナイスハートバザール in けんちょう	27		農業試験場公開デー	
	15	「大規模災害時における公共土木施設の復旧体制に関する連携会議」合同情報伝達訓練	28		栃木県・さくら市総合防災訓練	
	20	「とちぎ農産物輸出促進会議」設立	29		佐川急便(株)との包括連携協定締結	
	25	男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	9月	1	食生活改善推進員リーダー関東甲信越静ブロック研修会(2 日まで)	
	27	畜産酪農研究センター新畜舎等竣工記念式典		2	とちぎの元気な里山林サミット	
	30	主要地方道 宇都宮那須烏山線 福岡交差点 供用開始		7	(株)足利銀行との「移住・定住の促進に関する協定」締結	
	7月	1		英国大使館別荘記念公園開園	11	栃木県・県南地区災害対応訓練
		3		VERY GOOD LOCAL とちぎフェア	12	「とちぎロボットフォーラム」キックオフシンポジウム
		6		栃木県フロンティア企業認証式	14	三井住友海上火災保険(株)との包括連携協定締結
		7		第 50 回交通安全子供自転車栃木県大会	14	とちぎ女性活躍応援団設立
11		「とちぎヘルスケア産業フォーラム」キックオフセミナー		15	栃木県庁イクボス宣言	
12		一般県道小来川文挾石那田線 赤行橋開通		16	日光国立公園満喫プロジェクト第 1 回地域協議会	
21		とちぎ企業立地・魅力発信セミナー in NAGOYA		18	とちぎ木材フェスティバル「もくもくまつり 2016」	
22		とちぎ暮らし・しごと支援センター開設(とちぎ UIJ ターン就職サポートセンターを併設)	20	糖尿病重症化予防に係る連携協定締結式		
23		栃木県 DMA T 養成研修(24 日まで)	20	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(21 日から 30 日まで)「交通安全の火」分火式		
			21	(株)NEZAS ホールディングスとの包括連携協定締結		

9月	22	2016 とちぎ動物愛護フェスティバル	11月	3	名誉県民の船村徹氏が文化勲章受章
	24	少年の主張発表県大会		5	ヒューマンフェスタとちぎ 2016 in 佐野
	24	子どもの料理コンクール 2 次審査会開催		8	栃木県青少年健全育成成功労者等表彰式
	25	第 12 回栃木県障害者スポーツ大会		10	栃木県文化功労者表彰式
10月	28	一般県道羽生田鶴田線 助谷工区 4 車線供用開始	11	主要地方道宇都宮笠間線 上小貫工区 供用開始	
	30	栃木県スポーツ功労賞表彰式(海老沼匡選手、高藤直寿選手、眞田卓選手)	12	第 8 回「介護の日」フェスティバル in けんちょう	
	1	とちぎのきのこフェア(11月30日まで)	14	世界糖尿病デー ブルーライトアップ	
	1	県民健康・栄養調査(11月30日まで)	15	地域中核企業認定証交付式	
	1	臓器移植普及推進月間 宇都宮タワーをグリーンライトアップ(30日まで)	17	「とちぎのいいもの」まるごと商談会(東京都 18日まで)	
	1	栃木県障害者差別解消推進条例の完全施行	19	県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式	
	2	子どもたちの木工工作コンクール表彰式	19	フェスタ in パルティ 2016	
	2	栃木県認知症フォーラム	20	知事選挙	
	4	栃木県スポーツ功労賞表彰式(楢崎智亜選手)	21	青少年のためのインターネット利用環境づくりフォーラム 2016	
	11	県立とちぎ海浜自然の家利用者 200 万人達成	21	第 8 回栃木県交通・生活安全安心県民大会	
	13	第 29 回きのこ料理コンクール	24	よい歯のコンクール表彰式	
	13	第 6 回栃木県交通安全高齢者自転車大会	24	栃木県農業担い手躍進大会	
	20	優良木材展示会(28日まで)	26	栃木県農業大学校第 40 回農大祭(27日まで)	
	20	とちぎ企業立地・魅力発信セミナー(東京都)	27	総合スポーツゾーン桜の木の植樹会	
	21	高原県有林において森林認証を取得	27	スカイベリーフェスタ 2016	
	22	第 13 回「なんびょうサポートとちぎのつどい」を開催	29	一般県道山本下大羽線 上大羽工区 供用開始	
	22	フレッシュファーマーズマルシェ 2016	29	主要地方道小山環状線 間中工区 供用開始	
	22	畜産酪農研究センター公開デー	30	とちぎ協働推進大会 2016	
	28	第 2 回「山の日」記念全国大会実行委員会設立	30	「やまがた技能五輪・アビリンピック 2016」入賞者報告会	
	28	企業局 60 周年記念植樹式	30	一般県道名草小俣線 小俣町中工区 供用開始	
	28	栃木県障害者文化祭～カルフルとちぎ 2016 ころのつどい～(29日まで)	30	平成 28 年度栃木県きのこ・わさび展示品評会(12月1日にも開催)	
	29	とちぎ健康フェスタ 2016	12月	1	「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」がユネスコ無形文化遺産(山・鉾・屋台行事)に登録
	29	食育推進大会		2	「とちぎ技能五輪・アビリンピック 2017」カウントダウンボード除幕式
	29	とちぎ食と農ふれあいフェア 2016(30日まで)		2	第 54 回栃木県統計大会
	29	栃木県伝統工芸品展 2016(30日まで)		4	リオオリンピック・パラリンピック入賞者による県民祝賀パレードと報告会
	30	とちぎ林業 Grand prix 2016 in 県民の森			

12月	4	栃木県民栄誉賞表彰式(萩野公介選手) 栃木県スポーツ功労賞表彰式(清水咲子選手)
	4	“輝くとちぎ人”の集い
	5	とちぎナイスハートバザール in けんちょう
	5	栃木県心の輪を広げる障害者理解促進事業入選者表彰式
	5	栃木県障害者差別解消推進フォーラム
	7	栃木県芸術祭表彰式
	8	ジュニア知事さん表彰式
	11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動(31日まで)
	17	都市計画道路 3・3・3 号小山栃木都賀線 栃木市平柳町工区開通
	19	主要地方道矢板那珂川線 大鳥橋開通
	21	栃木県文化シンポジウム



とちぎ県政のあゆみ 2016

平成 29 年 3 月 31 日発行

編集・発行／栃木県県民生活部広報課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20

☎ 028-623-2192 FAX 028-623-2160